

運動好きな児童を育成するための調査研究

— 体育授業における「楽しさ」の分析を通して —



長期研修員 太刀川 雄一

研究の背景

現状

体力低下



運動する



二極化

運動しない



ほとんど運動しない子

男子 12 % 女子 23 %



*「平成21年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」
県教育委員会スポーツ健康課 報告書より

教育の流れ・方向性

生涯にわたって

運動に親しむ資質や能力の基礎を
培う観点を重視 (H20 学習指導要領体育編)

態度

思考・判断

技能

先行調査・研究から

運動「好き」＝ 体力「高い」

運動好き

得意

苦手

苦手だけど
運動好きな子がいる！

相関

運動「好き」



体育「好き」

相関

体育「楽しい」



苦手でも運動が好き？「技能」以外にも
何か要因があるのかな・・・？

楽しい体育授業を行うことで、
運動好きな児童を育成でき、結果的に
体力の向上につながるだろう！！



調査の目的

児童の「体育授業に対する意識」を調査・分析することで、
体育授業における「楽しさ」を明らかにする。

Q

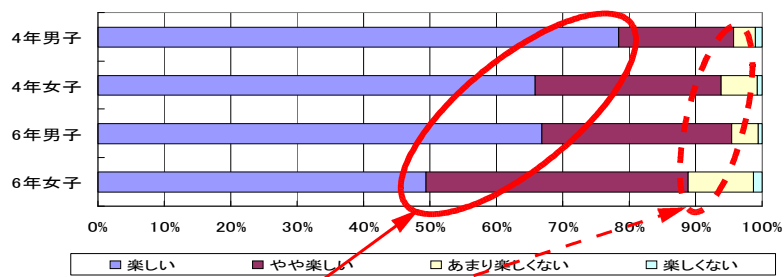
「体育授業が楽しい」と「運動が好き」の関係は？

A

「体育授業が楽しい」と感じている子は「運動が好き」

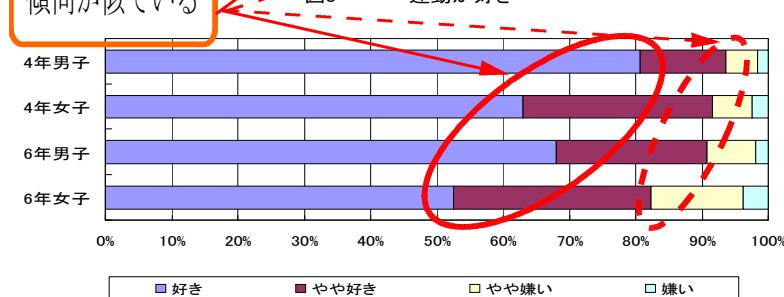
調査・分析 1

図2 体育授業が楽しい



傾向が似ている

図3 運動が好き



「体育授業が楽しい」と「運動が好き」の相関

	4年男	4年女	6年男	6年女
相関係数	0.645	0.686	0.689	0.732

相関係数が高い

結論

体育の授業を
楽しくすることで、
運動好きな児童を
増やすことができます！



Q

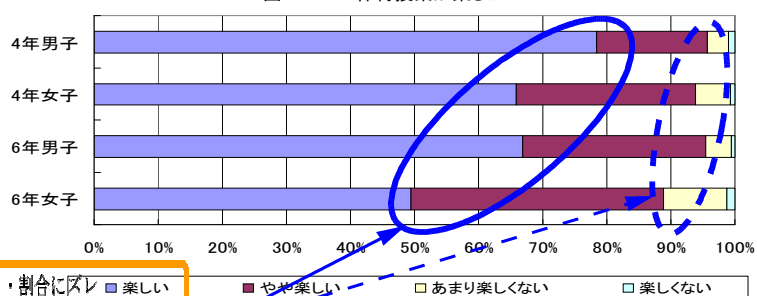
体育授業が楽しいのは、「運動が得意な子」だけ？

A

運動が苦手でも、体育を「楽しい」と感じる子はいる

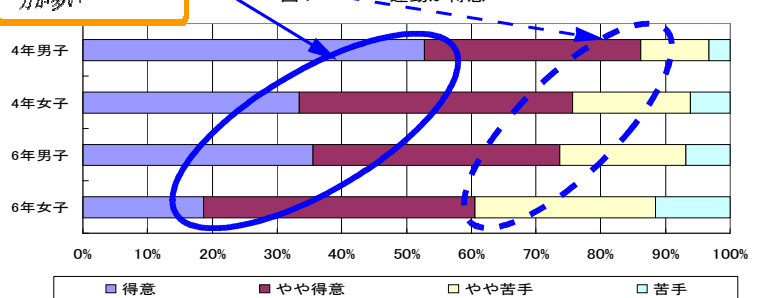
調査・分析 2

図2 体育授業が楽しい



・割合に区別
・「楽しい子」の割合の
方が多い

図4 運動が得意



「体育授業が楽しい」と「運動が得意」の相関

	4年男	4年女	6年男	6年女
相関係数	0.468	0.556	0.587	0.619

相関係数があまり高くない

結論

運動が苦手な
児童でも、体育の
授業に楽しく取り
組むことができます！



Q

運動が苦手な子が、楽しくできていない領域は？

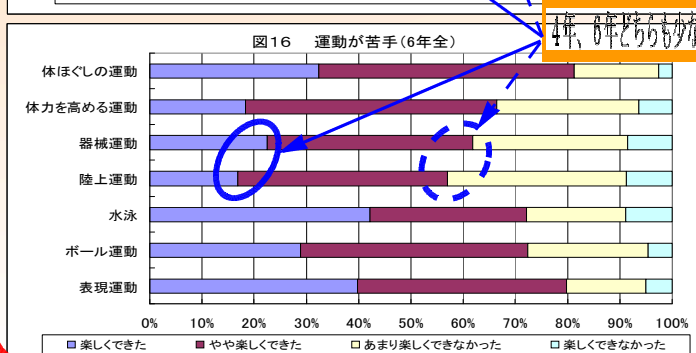
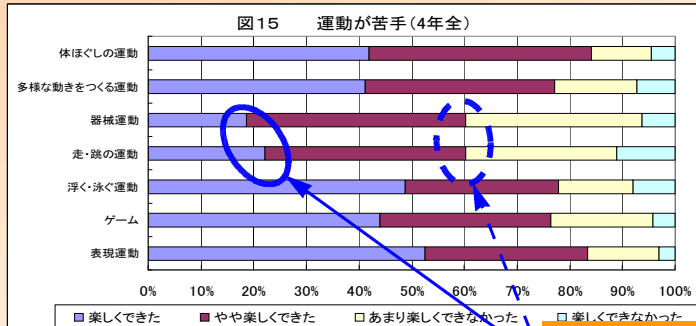
A



「器械運動」と「陸上運動」



調査・分析 3



結論

「器械運動」と「陸上(走・跳の)運動」の授業改善が必要です！

- ・ χ^2 乗検定でも、『器械運動』と『陸上(走・跳の)運動』は、楽しくできた児童が少ないという結果が出ています。
- ・この2領域は、個で活動することが多く、「協同」の場が少ないために、楽しくできた児童が少なくなつたと考えられます。



* χ^2 (カイ)2乗検定：コンピュータによる高度な演算処理。「差があるか、ないか」を明確にする。

Q

体育授業における「楽しさ」の要因は？

A

『協同』：「友達とかかわり、学び合いたい」という意識

調査・分析 4

「因子分析」で明らかになった「楽しさ」(運動が苦手な子)

3観点と因子の関係

		技能	態度	思考・判断
4年	男	自己実現	発見協同 賞賛	
	女		安心協同 賞賛	観察選択
6年	男		発見協同 安全克服	
	女	賞賛克服 創造的	発見協同	競争

《表の見方》

例えば、「4年男子には、『技能』面に關わる〈自己実現〉因子、6年男子には、『技能』面、『態度』面、『思考・判断』面に關わる〈安全克服〉因子がある」ことを表しています。

結論

「協同」が核です！



- ・4年男子、4年女子、6年男子、6年女子、全てに「協同」に関する因子があります。
- ・「発見協同」は『友達の良いところから学べるように、友達とかかわりながら活動したい』、「安心協同」は『友達と協力しながら、安全に気分良く活動したい』という意識によって構成されています。



*因子分析：ある集団のもつ性格や意識に影響を与えていると思われる潜在変数を究明する。

提言



協同を核にした体育授業を 行いましょう！！

☆体育授業を通して運動の**楽しさ**を実感させることで、運動好きな児童を育成することができます。授業を工夫・改善し、「**協同(態度)**」を核として「技能」、「思考・判断」とのバランスがとれた「楽しい体育」になるようにしましょう。

☆「**協同**」を核にした授業によって、運動が苦手な児童も「体育が楽しい」と感じます。「器械運動」や「陸上（走・跳の）運動」など、個で活動することが多い領域においても、「**友達とのかかわり合い、学び合い**」を設定するようにしましょう。



運動好きな児童を増やすために



◇個で活動することが多い領域でも、「協同」の視点に留意しましょう。

	中学年	高学年
交 流	友達とやり方や動きを見合える時間を設定し、 互いのよさを知る ことができるようにする。	友達と教え合える時間を設定し、 互いのよさを知る ことができるようにする。
賞 賛	順位・タイム・距離などの記録や技能に対してだけでなく、取り組む 姿勢や態度 などの面でも認め合えるようにする。	自己の課題の達成や技能の向上を、 励ましたり認め合ったり する時間を設定する。
選 択	練習方法や練習の場を、児童が自分の力に応じて 選べる ようにする。	練習の場や段階を、児童が自分の課題に応じて 選べる ようにする。
戦術会議		競争や勝負の際には、 ルールや作戦などの工夫を話し合う 時間を設定する。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター

担当係:研究企画係

0270-26-9212（直通）